



Little Diamonds

14

No. 2006年4月28日
発行：浦和レッドダイヤモンド

JUNIOR YOUTH 高円宮杯

優勝記念特集号

優勝

2005シーズン二冠を達成！ 高円宮杯第17回全日本ユース(U-15)選手権初制覇



高円宮杯初優勝を果たしたレッズジュニアユース 選手たちの頭にはサポーター手作りの月桂冠 (12/29/表彰式)

高円宮杯第17回全日本ユース(U-15)選手権において、浦和レッズジュニアユースが初優勝を果たした。

グループリーグを2勝1分けの2位で通過したレッズジュニアユースは、ラウンド16で柏レイソルユースU-15と対戦。延長後半に先制したものの追いつかれ、PK戦で勝ちを収めた。その後は、準々決勝の大分トリニータU-15戦、準決勝の狭山ジュニアユース



胴上げされる名取篤監督 (12/29/表彰式)



高円宮杯を受け取る高橋峻希主将 (12/29/表彰式)

それぞれの胸に金メダルが光る (12/29/表彰式)



FC戦を快勝し、天皇杯準決勝の前座試合として12月29日国立競技場で行われた決勝でもFC東京U-15深川を圧倒して2-0で勝利した。

高円宮杯優勝はレッズジュニアユースとして初めて。8月の第20回日本クラブユースU-15選手権に続いて2005シーズン二冠目を獲得した。



この表彰台には3日後、トップチームが上った (12/29/表彰式)



決勝の後半24分、藤田圭介(12)が2点目を挙げ勝利をほぼ決定する (12/29/F東京戦)

決勝

vs FC東京U - 15深川 (12/29 / 国立競技場)

1万人の観客の前で最高の試合 点差以上の内容で相手を圧倒



前半 16分、岸幸太郎が先制ゴールを挙げ、チームメートの祝福を受ける (12/29 / F東京戦)



和田祐樹 (12/29 / F東京戦)

菅井順平 (12/29 / F東京戦)



山田直輝 (12/29 / F東京戦)

FC東京U - 15深川との決勝では、早めにスタンドに陣取った約1万人の観衆の中でも全く動じず、素早い出足と一対一の強さ、正確なパスで試合を制した。前半16分に、CKのこぼれ球を岸が押し込み先制。2点目は後半24分、田仲が左サイドを破って折り返すと、中央で藤田が左足で蹴り込んだ。点差は2 - 0だったが、シュート数は24対5と相手を圧倒していた(試合はすべて40分ハーフ)。

表彰式の後には、ゴール裏のレッズサポーターにあいさつ。トップチームさながらの応援に感謝し、その後の天皇杯準決勝に出場するトップチームにはずみをつけた。



森田健介 (12/29 / F東京戦)



後半24分、藤田圭介が3試合連続となるゴールを挙げ、優勝を決定付ける (12/29 / F東京戦)



田仲智紀 (12/29 / F東京戦)



高橋峻希 (12/29 / F東京戦)

2005高円宮杯
第17回全日本ユース(U-15)選手権
決勝

12月29日 11時30分 / 国立競技場		
FC東京 U-15 深川	0 前0 後0	vs 前1 後1
浦和レッズ ジュニアユース 2		
GK	慶徳 優	
DF	森田健介 和田祐樹 菅井順平 池田涼司	
MF	山田直輝 高橋峻希 原口元気 田仲智紀	
FW	武富尚紀 岸 幸太郎	
得点	岸(16分) 藤田(64分)	

2005高円宮杯
第17回全日本ユース(U-15)選手権
準決勝

12月27日 13時35分 / 西が丘サッカー場		
狭山 ジュニアユース FC	0 前0 後0	vs 前3 後5
浦和レッズ ジュニアユース 8		
GK	慶徳 優	
DF	森田健介 (大里康朗 / 78分)	
MF	和田祐樹 菅井順平 池田涼司 山田直輝 (石沢哲也 / 75分) 高橋峻希 原口元気 (藤田圭介 / 62分) 田仲智紀 (沼 大輔 / 79分)	
FW	武富尚紀 岸 幸太郎 (暮本啓太 / 72分)	
得点	武富 3(19分、79分、79分) 岸(39分) 田仲(39分) 原口(53分) 藤田(67分) 暮本(75分)	

選手のみならず ——— 監督・名取 篤

夏のクラブユースもそうだったが、決勝が一番良い試合だった。内容的には2点差よりもっと差があったと思う。正直言って安心して見ていられた。この選手たちにはいつもだまされる。どこにこんな力を隠していたんだろうと(笑)

3年生のみならず。本当に僕自身楽しませてもらったし、全国大会優勝という非常に良い結果もあったけど、一緒にサッカーを楽しんでくれてありがとう。ただ、ここがみんなの目標の最後じゃない。この先、プロになりたいとユースに上がったたり高校に行ったりするだろうけど、将来サッカー選手になったり指導者になったりしたときに、あのときもう少しやっておけば良かったなど後悔しないでほしい。

2年生は、今後どの大会でも「日本一のレッズ」という目で見られるでしょう。サッカーはもちろん、レッズのウェアやマークに恥じないように、ふだんの生活も大事にしてほしい。(2006.1.16)

準決勝

vs 狭山ジュニアユース FC (12/27 / 西が丘サッカー場)

大量得点も 最後まで攻撃緩めず

準決勝は同じ埼玉県の強豪、狭山ジュニアユース FC。近年は県内の大会で負けていないが、狭山はラウンド16と準々決勝をいずれもPK勝ちで粘り強く上がってきた。

レッズはやや慎重な立ち上がりから徐々にペースをつかみ、前半19分、原口、高橋、田仲と渡って最後は武富が先制ゴール。終了間際には岸、田仲が続いて追加点を挙げた。

3-0で迎えた後半も攻撃の手を緩めず5点を加え、8-0で圧勝した。武富は先制点のほか、後半ロスタイムに2点を挙げてハットトリックを達成した。



後半13分、原口元気が持ち込みシュート。4-0とする(12/27/狭山戦)



後半27分、藤田圭介がゴールを挙げる(12/27/狭山戦)



沼 大輔(12/27/狭山戦)

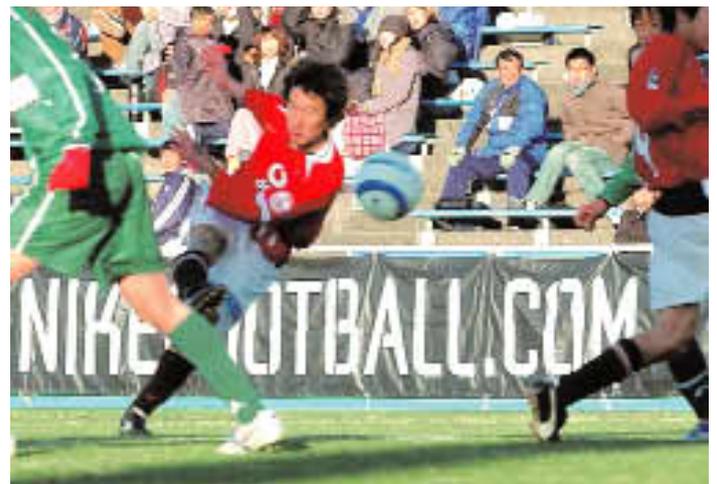


高橋峻希(12/27/狭山戦)



大里康朗
(12/27/狭山戦)

後半ロスタイム、
武富尚紀がハットトリックとなる3点を挙げる(12/27/狭山戦)



ラウンド 16

vs 柏レイソルユース U - 15 (12.17 / 広島ビッグアーチ)

慶徳がPK戦で活躍、3人を止める

DFラインを中心に手堅くパスを回す柏に試合の主導権を奪われ、お互いに決定的なチャンスがないまま 80分と延長前半を終えた。延長後半 3分、途中出場の蓑本のシュートがゴールイン。貴重な先制点となったが、柏も次のキックオフからいきなりチャンスを作り、それまで堅く守っていたレッズ守備陣の連携ミス突いて同点ゴール。1 - 1でPK戦に持ち込まれた。

悔しい失点を喫したGK慶徳だが、PK戦では柏のキッカーを先頭から3人連続シャットアウト。4人目は惜しくも入れられたが、レッズは5人目の森田がしっかり決め、3 - 1で勝ちを手にした。

柏レイソルユース U - 15は、夏のクラブユース選手権 U - 15の決勝トーナメント1回戦で2 - 2の末のPK勝ちした相手。



延長後半 3分、蓑本がシュートを決め先制する (12.17 / 柏戦)



PK戦で相手のキックを止め、ガッツポーズの慶徳 (12.17 / 柏戦)

手。今回も完全決着は付けられなかったが、死力を尽くした末の勝利に選手たちは満足げだった。



夏に続き、柏にPK勝ち。慶徳と最後のキッカー森田にかけよるイレブン (12.17 / 柏戦)

2005高円宮杯 第17回全日本ユース(U - 15)選手権 ラウンド 16	
12月 17日 13時 18分 / 広島ビッグアーチ	
柏レイソルユース	1 VS 1 浦和レッズジュニアユース
前0 後0 延前0 延後1 (PK 1 - 3)	前0 後0 延前0 延後1
GK	GK慶徳 優
DF	DF森田健介 和田祐樹 菅井順平 池田涼司
MF	MF山田直輝 高橋峻希 原口元気 (大里康朗 / 97分) 田仲智紀
FW	FW武富尚紀 (蓑本啓太 / 89分) 岸 幸太郎 (藤田圭介 / 71分)
得点	蓑本 (93分)

準々決勝

vs 大分トリニータ U - 15 (12.18 / 広島ビッグアーチ)

豪雪の中、後半5得点で快勝



田仲智紀 (12.18 / 大分戦)

後半 36分、岸幸太郎がヘディングシュートを決める (12.18 / 大分戦)

準々決勝は豪雪に見舞われ、ボールが止まり気味。持ち味のパスサッカーには不向きだった。前半 33分に高橋がPKを止められ嫌なムードになったが、後半 14分にその高橋が先制。19分には途中出場の藤田が2点目を決めた。28分に1点を返されたが、すかさず3分後に高橋が相手のクリアボールをカットして蹴り込んだ。4点目はショートCKから岸がヘディングで、5点目は田仲がFKを直接決めた。

大会役員の努力で前半は普通のピッチだったが、降り続く雪に後半は真っ白。大分GKがペナルティエリアを飛び出してセーブした際、主審がハンドの判定をするのに雪をのけてラインを確認したほどだった。



山田直輝 (12.18 / 大分戦)



2005高円宮杯 第17回全日本ユース(U - 15)選手権 準々決勝	
12月 18日 14時 30分 / 広島ビッグアーチ	
浦和レッズジュニアユース	5 VS 1 大分トリニータ U - 15
前0 後5	前0 後1
慶徳 優	GK
森田健介 (大里康朗 / 48分) 和田祐樹 菅井順平 池田涼司	DF
山田直輝 高橋峻希 原口元気 (蓑本啓太 / 70分) 田仲智紀	MF
武富尚紀 (藤田圭介 / 40分) 岸 幸太郎 高橋 (54分、71分) 藤田 (59分) 得点 岸 (76分)、田仲 (79分)	FW